

414
A2955



海運局計并規則

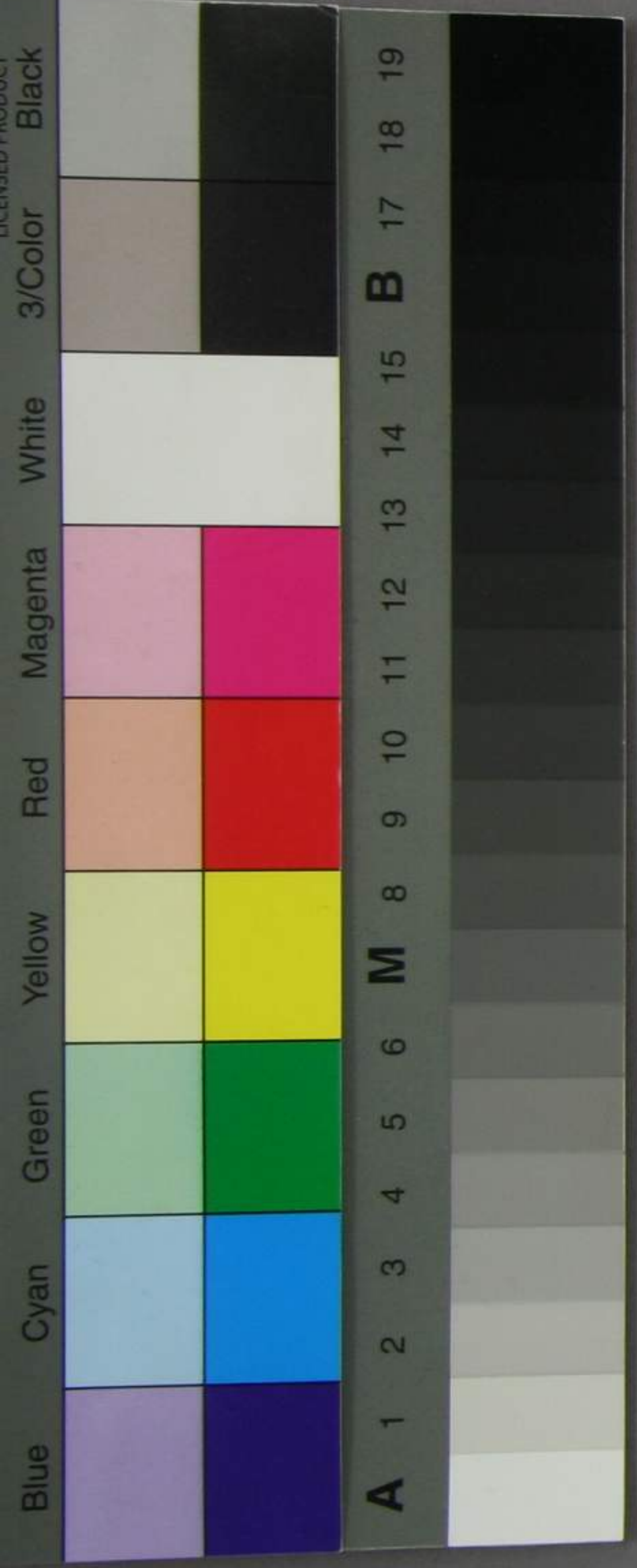
第一則

局船十三艘運賃ノ總計ヲ緻密遺漏
ナク毎月末ニ調査シ若シ航海中ノ公ハ
日數ヲ概割シ運賃高ノ目途ヲ算スベ
シ

第二則

一ヶ月運賃高ノ内石炭油等其他航海
入費船長以下給料 瀬取船賃賃税
納并船中雜費及ニ小修復用ヲ去リ残

大正十一年四月
大正十一年四月



高シ以テ純益金トス

第三則

小脩費用ノ額ハ各船運賃總計ノ百分ノ
五ト極メ月々除キ置クヲ則トス

第四則

純益金ノ内幾分ノ幾許ハ海運局名代
ノ工與ヘ壹萬圓ノ局費ニ充テ七千五百
圓ハ船代價利足トシテ本首工輸入シ尙
殘高ヲ三分ニシ其二分ハ船代元價ノ返還
ニ備ヘ其一分ハ修繕並ニ難事準備トス

第五則

修繕并難事準備不足スルノ日アルニテ
テハ船代元價返還ノ部類ヨリ支給スルヲ
規トス

第六則

修繕並難事準備且小修費用ノ金額
成規ノ如ク備ヘ幸ニシテ其支出ナキ時ハ
月々各々其表ヲ製長シ翌月越高ニ掲ク
ヘシ

第七則

日々ノ出納ハ撫査寮ヲ經ズ當旬限リ處
分シ毎年六月十二月兩度ニ整理シ檢
査寮ノ成算ヲ得テ御輔ノ決判ヲ乞フモ
ノトス

第 八 則

然レ時ニ出納中ニ尋常普通ノモノハ除
キ事ノ熟議スベク額ノ多少スベキ出納ハ
必ス御輔ノ決判ヲ俟テ處分スベシ

第 九 則

航海運送費用等一切運航ノ費用及運

賃取立ニ係ル出納計算規則ハ一冊ニ
詳ナリ御尋ラ名代人ノ任スル所ノモノトス

大藏省
海運局
汽船運送所事務取

第一款

運送所名代人ニ委任所轄セシメ平常
局ヨリ牽制スル有ル一無し

第二款

然レ運送所ニ處分曖昧ニ出テ或ハ事務
遲緩シテ云益ニ害アル所ハ局ニ裁決シ以テ
改革スルニ則トス

第三款

運送所支共費用一切名代人手數料

ヲ以テ支給スベシ

第四款

衝突償金、多少共皆名代人ノ手数料ヨリ
辯給スベシ若シ他船ヨリ償金ヲ受ルモ
ハ名代人ノ所有タルベシ衝突一切ノ事件、
名代人ノ擔當トス

第五款

船中備付ノ器械其他若シ紛失スルハアルキ
名代人ニテ之ヲ辯納スルヲ規トス

第六款

運用所ニ於テ擔當ノ要件ハ、
往返官員ヲ運送シ又ハ官物輸出スル事
ノ一ハ悉皆局ノ命令ニ因テ從事スベシ

第七款

内外人民ノ荷物ヲ回漕シ便船乘客ヲ乘
往セシメ勉メテ運賃ノ收入ヲ増シ純益ノ金
額ヲ加フルルニ注意スベシ

第八款

乗客荷物ヲ運送スルニ方リ應接談判ノ
際務テ平和温順丁寧懇切ニスベシ官府ノ

名代人タルヲ以テ驕色アルヲ嚴禁トス

身九款

決船修繕ノ虞アルキハ先ツ其損傷景況ヲ細陳シ自今幾航海ノ後ハ必ク修理ヲ要シ其費程ノ概算若干タルヲ具状スベシ

身十款

諸艦運航ノ事務ハ名代人ノ主任タリ而シテ之ヲ回漕スル各地諸港ノ方向決定スルハ局全權ニ帰ス

身十一款

諸官存縣内外人民ヨリ局船ノ傳信ヲ頼スルアレバ必ク其回航ノ地方往來ノ日數賃賃ノ金額ヲ注密記載シテ裁決ヲ局ニヒラベシ但シ回航客地ニ於テ專雇ノ淡ヲ受ルルキハ電報ヲ以テ指令ヲ俟ツベシ

身十二款

賃積荷物事故ノ為メニ破損缺耗潤傷等アルニテ規則ヲ逐テ之ヲ償却スルハ名代人ノ擔當ニシテ官費ヲ仰ガザルモノトス

身十三款

船長以下船中諸人員ヲ進退褒貶スルハ
名代人全權タリ然凡人員給料共ニ定額
ヲ超過スルニ至テハ局ノ許可アルニ非レバ決
シテ處分スベカラズ

第十四款

諸船運航ノ順次ハ品海投錨ノ刻ヨリ再
回品海投錨ノ刻ヲ以テ一次トス而シテ毎
トニ返クトモ一周間内ニ必ラス航海費益
表并航海日記等ヲ具シ局ニ上呈スベシ

第十五款

毎月第廿日迄ニ前月中ノ總計表并會
計明細書及事務月報ヲ具狀シ同時
金額受納若處分スルヲ例規トシ敢テ遲滞
アル勿レ

右決定候條尚實際ニ就テ利害得失
ヲ講究シ其細目ヲ明揭シ其規則ヲ嚴
守スルヲ要ス



卷之三